



府中市立府中第六中学校

令和5年10月7日 第6号

# 六中だより

～学校教育目標～  
“学力と情操”  
“健康と忍耐力”  
“勤労と責任”

## 子どものサポーターは保護者

——大人の責任——

校長 佐藤 光宏

子どもの生活習慣の乱れが問題になってからかなりの時間が経ちました。これらの問題行動を解決するためには、子どもの生活基盤である家庭での生活習慣を整えることが急務とされています。かつて、文部科学省は「早寝早起き朝ごはん」対策を全国展開していました。また、子どもの対人関係能力や社会適応能力の育成のためには適切な「愛着」形成が重要であると言われています。すなわち、子どもが安定した自己を形成するには、保護者の役割が大切なのです。子どもの健全な発達のためには、基本的な生活リズムや食事習慣の獲得が求められます。さらに情動は、生まれてから5歳くらいまでにその原型が形成されるため、乳幼児教育の重要性を理解したうえで、中学生の保護者としてこれら何ができるかを考えることが大切です。とくに保護者として子どもへの愛情をどう伝えるか、思春期から大人への時期にどう対応していくかは、学校と保護者がともに考え行動していく必要があります。

課題解決のためには、次のような取り組みを考えてみたいと思います。「適切な運動、調和のとれた食事、十分な睡眠」の三つです。適切な運動は学校で取り組めるとしても、家庭における食事や睡眠などの習慣づけが大切であるということをご理解していただければと思います。

中学生という時期は、子どもが身体的に大きく成長し、外面的には大人の手を離れたように見える時期でもあります。しかし、心の成長は大人と呼ぶにはほど遠く、自分自身でコントロールするすべをもっていません。この時期だからこそ保護者は「することを温かく見守る、けっして手元から離さない」姿勢を貫くべきだと言えます。またこの思いをきちんと子どもに伝えておくことも大切です。成長を喜び、子どもにきちんと親の考えを話してみたいはいかがでしょうか。

学校と保護者が連携していけば、けっしてマイナスのことは起こらないと確信しています。





## 3年生・修学旅行

●9月10日(日)から12日(火)まで、京都・奈良への修学旅行へ行ってきました●

昨年度実施した校外学習の経験を活かし、実行委員を中心にきまりやコースを全員で考え、創り上げた修学旅行でした。班行動中は班長を中心にトラブルにも柔軟に対応していました。この経験を受験や卒業に向け活かしていけたらと思います。



## 職場体験

2年生

9月5日(火)から7日(木)の3日間、4年ぶりに2年生の職場体験学習が行われました。今年度は68ヶ所もの事業所にご協力をいただき、生徒はそれぞれの体験先に分かれて仕事に取り組みました。巡回中には充実した生徒の表情をたくさん見ることができ、普段の学校生活では味わえない貴重な体験をさせていただきました。



## 部活動等の実績



バレーボール部 第64回府中市民体育大会 秋季大会 優勝



卓球部 第45回府中市公立中学校卓球大会 優勝 1年男子 A  
第45回府中市公立中学校卓球大会 第3位 1年男子 B



令和5年度関東地区乗馬スポーツ少年団選手権大会  
初級馬場馬術競技 第4位 2年男子



第64回府中市民体育大会 夏季大会  
クロス障害飛越競技 第3位 2年男子